

平成30年 第4回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

平成30年7月23日 開会

平成30年7月23日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成30年 第4回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

(平成30年7月23日)

○本委員会に付議した議件

- 1 議案第34号 岩見沢市立小・中学校適正配置計画の策定について
そ の 他

○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 二
委 員	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	渡 邊 律 子
委 員	杉 野 幹 夫

教 育 部 長	井 筒 亨
教 育 部 次 長	鈴 木 栄 基
教 育 部 次 長	中 川 雅 博
事務局学校教育課総務係長	石 川 貴 規
事務局学校教育課総務係	吉 村 沙 紀

午前10時00分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から平成30年第4回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、渡邊委員さんをお願いいたします。

初めに、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○井筒教育部長 議案第34号 岩見沢市立小・中学校適正配置計画の策定について。

教育委員会が策定する岩見沢市立小・中学校適正配置計画についてご審議を願うものがあります。

○三角教育長 それでは、日程番号1、議案第34号 岩見沢市立小・中学校適正配置計画の策定についてを審議いたします。説明をお願いいたします。

○中川教育部次長 それでは、議案第34号 岩見沢市立小・中学校適正配置計画の策定についてご説明いたします。

岩見沢市立小・中学校適正配置計画につきましては、その案につきまして、平成27年6月に開催されました平成27年第6回教育委員会定例会でご協議をいただきました。当時、その当初案について美流渡小・中学校の保護者や地域の皆さんにご説明をいたしましたが、PTA、地元町内会長などの皆さんから美流渡小学校・美流渡中学校の存続に関する嘆願書が提出されたことなどから、棚上げをいたしました。その後、本年4月に美流渡小・中学校PTAから、協議再開等についての要望書が提出されたことから、保護者の皆さんとの話し合い等を再開いたしましたところ です。

そのようなことから、今回は当初案に修正を加えまして、岩見沢市立小・中学校適正配置計画をご提案しております。

それでは、まず1ページをご覧くださいと思います。

「1はじめに」の部分は、当初のものから変更はなく、適正配置計画の目的と、策定に至る経緯について記載しております。ページ中段の、「適正配置計画（案）策定までの取り組み」の部分では、当初案では、平成26年11月までの記載でありましたが、最後の1項目、平成27年6月に「当初（案）」を複式学級の解消を優先して、美流渡小・中学校を対象校として策定したことを記述しております。

2ページに移りまして、「適正配置計画（案）の策定からこれまでの取り組み」ということで、「当初（案）」の策定から現在までの経緯を記載しております。平成27年8月に「当初（案）」について、美流渡小・中学校関係者との意見交換等を開始いたしました。この動きに対して、平成28年6月、美流渡小・中学校関係者（10団体）から「美流渡小中学校の存続を希望する嘆願書」が提出されました。それを受けて、同年8月に適正配置計画（案）の一時棚上げをし、（1）子どもの教育、（2）地域との連携、（3）地域振興について意見交換を進めることといたしました。

その後、平成30年4月になり、美流渡小中学校PTAから「適正配置計画の棚上げ」を解消し、統廃合に向けて協議の再開と、美流渡小学校の統合先をメープル小学校にするこ

とについての要望書が提出されました。その要望書を受けて、5月に統廃合に係る協議を再開し、美流渡小・中学校関係者との意見交換等を実施、統廃合の年度と、想定される教育環境等について、意見交換を実施してまいりました。

3ページに移りまして、「2 適正配置計画」の項になります。この中では、「適正配置の方法」の欄で、美流渡小学校の統合先を、当初案の志文小学校からメープル小学校に変更しております。この変更につきましては、美流渡小中学校PTAからの要望があったものですが、教育委員会といたしましても4点理由として考えておりますが、一つ目が、メープル小学校における「小規模特認校での特色ある教育活動」の維持継続に、美流渡小学校との統合が一助となること。そのことにより、市内の児童・保護者にとって、多様な教育活動の選択肢を確保できること。

二つ目といたしまして、学年が34人～50人の志文小学校と統合するよりも、学年が3人～7人のメープル小学校と統合するほうが、「小規模校の特色を生かした教育」を受けてきている美流渡小学校の児童にとって、激変が緩和され、統合ギャップが軽減、スムーズな移行が期待できること。

三つ目として、東部丘陵地域にある唯一の小学校であるメープル小学校との統合で、学校と地域がより一体となって教育活動を推進することが期待できること。

四つ目として、スクールバスでの移動時間が、メープル小学校のほうが短く、児童の負担が少ないこと。といった理由から、統合先をメープル小学校にするという判断をいたしました。

その下段、「実施時期」につきましては、当初案では平成30年4月となっておりますが、平成31年4月に両校とも統合することに改めました。この適正配置計画の基となる「適正配置に関する基本計画」の計画期間は、平成30年度までとなっておりますが、実際に行ってまいりました保護者・地域との合意形成、児童生徒数の状況、準備期間等を踏まえまして平成31年4月に統合を行うことといたしたいと考えております。

次、4ページには、平成27年から33年度までの児童生徒数の推移、31年度以降については、現時点で推計できる児童生徒数、それに伴う学級数の推移、推計をお示ししております。

最後、5ページでは、「4 適正配置に向けた今後の対応」につきましては、当初案では「地域説明会の実施」についての記述がありましたが、既に地域説明は行われたことから、それを削除いたしまして、(1) 統合準備委員会の設置、(2) 通学環境の整備、(3) 廃校施設跡地の利活用検討について、当初案と変わらない内容を記述しております。

「5 おわりに」につきましても、当初案から変更はなく、本計画の目的、今後についても引き続き保護者や地域の理解と協力を得ながら、小・中学校の適正配置を進めていきたいという考えを記述し、締めくくっております。なお、この教育委員会臨時会の結果につきましては、本日13時から市議会総務常任委員会で報告をする予定としております。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○三角教育長 ただ今、議案第34号についての説明がございました。委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武蔵委員 基本的には前回の案が出された時点で、通学区域審議会からもご説明あり、適正な規模、学区はどうだという話と合わせて、美流渡小・中の場合は、少人数という規模すら逸脱している状態で、子どもたちのよりよい教育環境を整備しましょう、このとおり進めましょうということでしたけれど、やはり地域からの反対が根強かったので、急いで強引にすることが誰も幸せにしないということから棚上げでしたが、じっくり丁寧に地域とも話し合いを進めていこうということで、委員会、スタッフの皆さんしっかりとやっていただいて、今回地域の理解を得られているということですので、ぜひこの計画に従って進めていただきたいと思います。

あと、最後の「おわりに」のところで、最後の段落で、「今回対象となった学校は云々、その他の学校についても」とあるのですが、岩見沢市内全体の児童生徒の数が減ってくるので、という形のほうがいいのかなと思います。

○三角教育長 学校という記載ではなくてということですね。

○武蔵委員 単独の言い方でなくて、全体の中でバランスよく配置するということだと思うので…。

○三角教育長 岩見沢市内においては、ということでしょうかね。その辺どうでしょうか。

○中川教育部次長 武蔵委員からご意見をいただきました「岩見沢市全体の児童生徒数が減っているのです、」ということを書いてということですよ。それでバランスよくというあたりを…。

○武蔵委員 そのほうがソフトかな。いずれにしても、また再度審議会を立ち上げて、その中で協議をしていただくということにはなると思うので。

○中川教育部次長 次期計画につきましては、今、審議会を立ち上げまして、ご審議いただいくことになりますが、ここの記述については、全体が減っているみたいなあたりに改めまして、後日お渡しするということによろしいでしょうか。

○武蔵委員 これで決めなければいけないと思った。だからもうここで一任します。

○井筒部長 「その他の学校についても」というのを抜いてしまうだけですよね。

○三角教育長 後半で「小・中学校適正配置を進めてまいります。」と明言してあるから、市内においては、このまま市内の「児童生徒数は減少していくよ。引き続き保護者の理解と協力を得ながら小・中学校の適正配置を進めていきますよ。」という文言でも趣旨は伝わりますよね。

○武蔵委員 抜いてしまってもね。

○三角教育長 そのまま抜くという手もあるけどね。抜いてしまっても意味はしっかりとれるから。

○中川教育部次長 「その他の学校についても」を削除して、「今回対象となった学校は、小・中各1校となりましたが、児童生徒数の減少は今後も続くことが予想される」と。

○三角教育長 ほかにご意見等はございますか。

○秋山委員 今回、美流渡小学校・中学校、地域の方々から再度行いたいという話が出たということで、やはり希望に沿って、メープル小学校、清園中学校ということの中で、この中学校のほうも同じ認識で、それもやはり話を聞くと子どもたちの中でそういう話が出たという話もありまして、その希望に沿った中で、このような形で決心してもいいのではないかなと思います。

○三角教育長 ほかにございますか。

○渡邊委員 教育委員になってからずっとこの話があったのですが、学校視察に行っても、何とかしてあげたいなと感じ、平等な教育を受ける権利があるといってもちょっと可哀想かなと思っていたので、棚上げになってから、本当に上手にお互いの意見というか計画が上手にいったなという気がすごくします。そつなくすんなりといけたような気がするので、子どもたちにとっても良い環境を与えてあげてよかったかなと思います。

○三角教育長 杉野委員さん、ご意見はありますか。

○杉野委員 平成28年6月に嘆願書が提出されてからは約2年ですか、美流渡小・中学校のPTAから要望書が提出されるに至った間、約2年間ありますけれど、どのような動きとか変化とか、地域の人たちのその辺の中身というのはよくわからないのですが、その間、教育委員会としても丁寧に対応してきた部分があって、地域の中でも特にPTA、保護者の方の思いというのが、地域全体に浸透してこのような要望書の提出に至ったのかなと思うのですね。

やはり、現在通っている子どもの保護者、あるいはこれから入学するであろう、今後保護者になる方の思いからすると、少しでも大きな集団の中で教育を受けさせたいという思いは、すごく強いのだろうかなと思います。そんなことで、こういう動きになったということで、教育委員会としても子どもたちの教育を真剣に考えた中で、本当にいい形でスムーズに統合先の学校に馴染んでいけるようにしてあげていただきたいなということで、この流れでいいのかなと思います。

○三角教育長 それでは、教育委員会といたしましては、教育環境の維持、それから教育水準の適正な提供という観点からして、適正配置ということを検討してまいりましたけれど、今回の保護者、子どもたちの声を尊重して、計画どおり進めていくということで確認させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 では、この件につきまして、ほかにご意見、ご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、議案第34号につきましては、原案どおり決定いたします。

続きまして、その他に移りますけれど、委員の皆様から何かございますか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 特になければ、事務局から何かありますか。

(「ないです」という声あり)

○三角教育長 それでは、以上をもちまして、第4回教育委員会臨時会を終了させていただきます。大変ご苦労さまでした。

午前10時20分閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員